



**平成28年度市民意識調査
(高校生版)**

報 告 書



平成29年1月

多 治 見 市

調査概要

1 調査目的

本調査は、市民意識調査に加え、若者の生活意識や市政全般、今後のまちづくりについての意見、要望などを把握するため市内高校生を対象として行うものであり、今後の住みよいまちづくりに向けての各種施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査方法等

- ・調査地域 多治見市全域
- ・調査対象 市内高等学校2年生の男女
- ・調査方法 インターネット回収
- ・調査時期 平成28年8月～9月

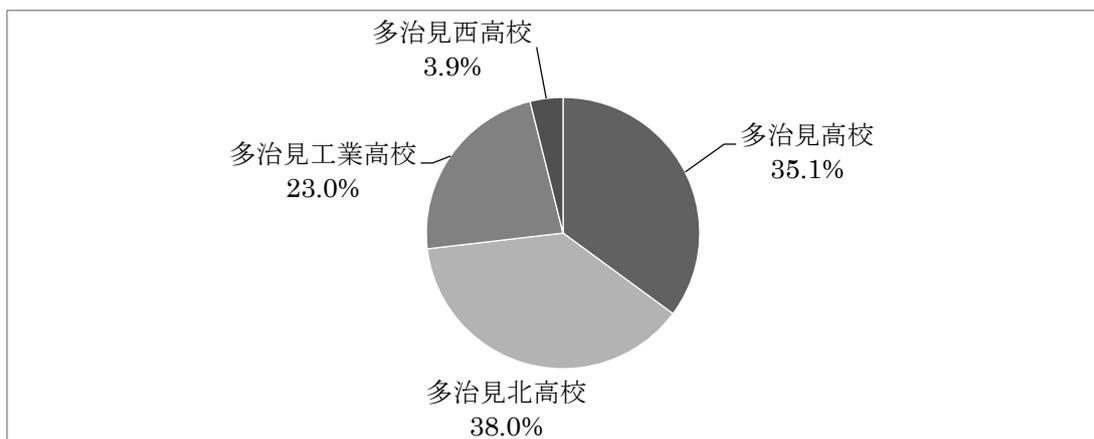
3 回収結果

	依頼数	回収票数	回収率
多治見高等学校	230	208	90.4%
多治見北高等学校	240	225	93.8%
多治見工業高等学校	160	136	85.0%
多治見西高等学校	240	23	9.6%
合計	870	592	68.1%

第1章 回答者のプロフィール

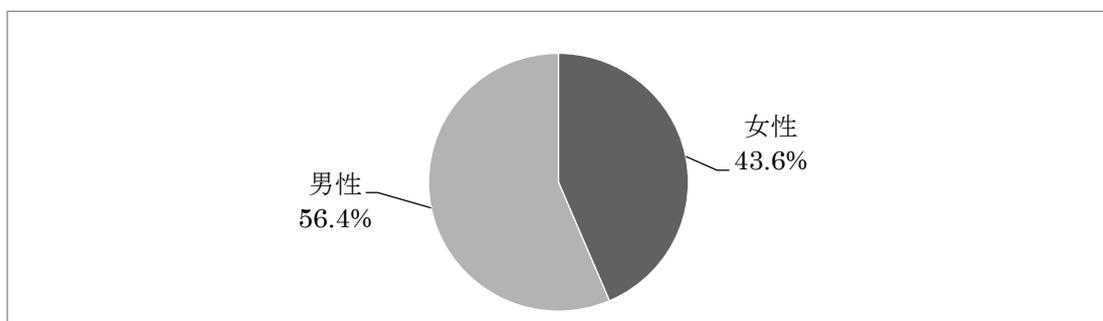
1-1 学校

回答者の通う学校は、多治見高校が 35.1%、多治見北高校が 38.0%、多治見工業高校が 23.0%、多治見西高校が 3.9%となっている。



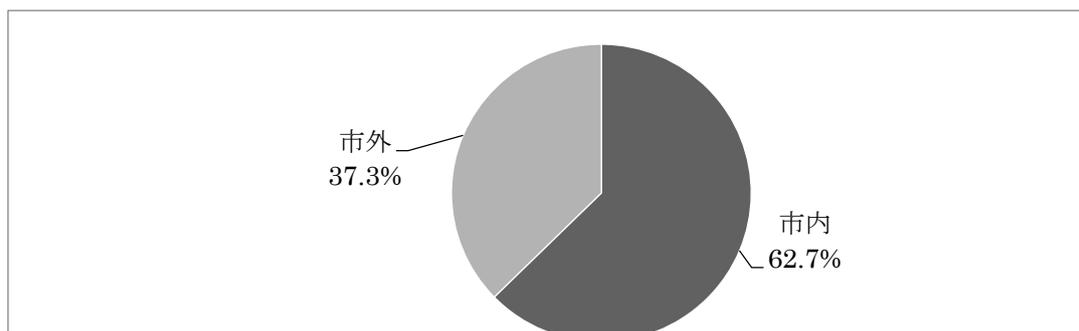
1-2 性別

回答者の性別は、女性が 43.6%、男性が 56.4%となっている。



1-3 居住地

回答者の居住地は、市内が 62.7%、市外が 37.3%となっている。

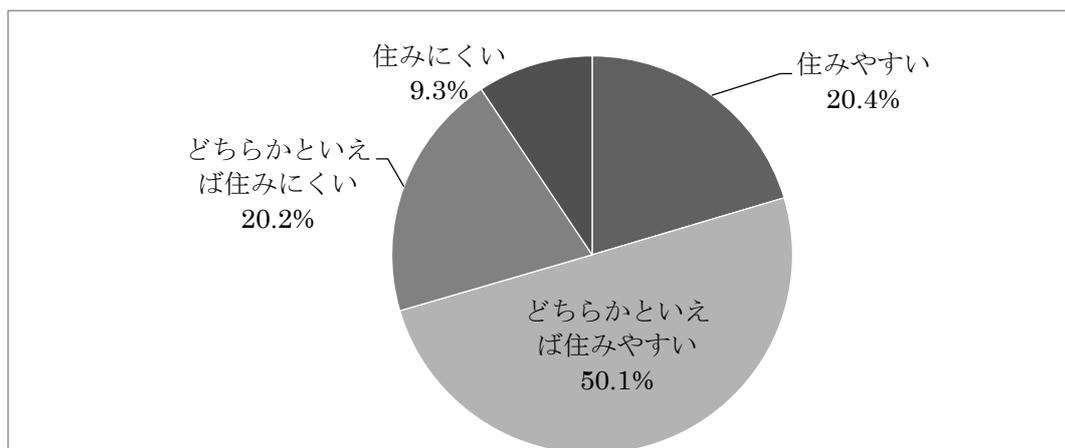


第2章 住みやすさと居留意向

2-1 住みやすさ

「住みやすさ」については、「どちらかといえば住みやすい」(50.1%)が最も高く、これに「住みやすい」(20.4%)を合わせた“住みやすいと感じている人”は70.5%となっている。

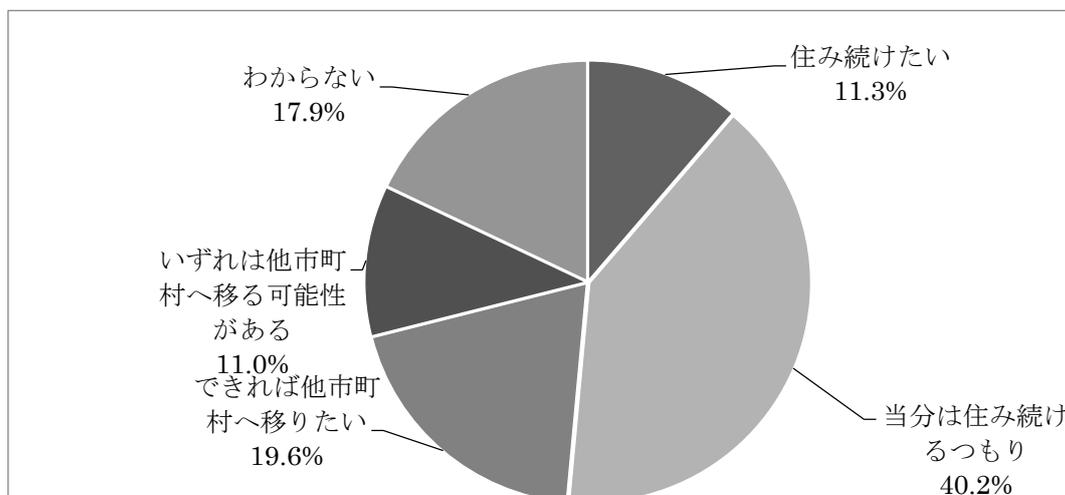
一方、「どちらかといえば住みにくい」(20.2%)と「住みにくい」(9.3%)を合わせた“住みにくいと感じている人”は29.5%となっている。



2-2 今後の居留意向

「今後の居留意向」については、「当分は住み続けるつもり」(40.2%)が最も高く、これに「住み続けたい」(11.3%)を合わせた“住み続けたいと思っている人”は51.5%となっている。

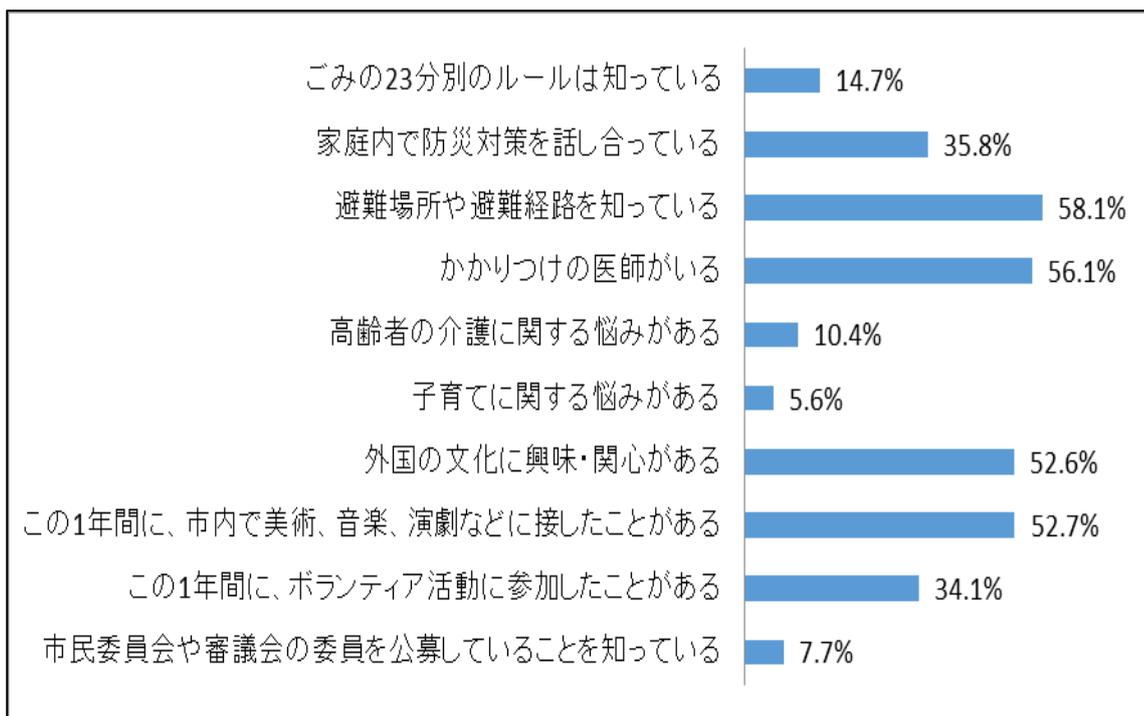
一方、「できれば他市町村へ移りたい」は19.6%、「勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある」は11.0%となっている。



第3章 生活実態及び市民意識

3-1 生活実態及び市民意識

「生活実態及び市民意識」については、「避難場所や避難経路を知っている」(58.1%)が最も高く、次いで「かかりつけの医師がいる」(56.1%)となっている。



第4章 市政全般について

4-1 市政への満足度

「市政への満足度」について尋ねたところ、プラスだった項目は、42項目中30項目となっている。

水道水の安定供給			1.00
下水道の整備			0.68
祭りやイベントの開催			0.61
消防・救急体制の整備			0.56
市内医療機関の充実			0.49
まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進			0.35
人権意識			0.34
男女平等意識			0.31
健康増進に向けた活動の機会			0.25
芸術や文化に触れる機会			0.22
情報公開や広報活動			0.21
地場産業への支援			0.21
小・中学生の学力・体力定着			0.20
スポーツを楽しむ機会			0.18
生涯学習の機会			0.17
職員の市民への対応			0.16
市政への市民参加の機会			0.16
情報化社会への対応			0.13
幼稚園や保育園の保育サービス			0.12
障がい者福祉			0.11
地域で支えあう福祉体制			0.09
緑化の推進			0.08
簡易な補修や清掃などの道路の維持管理			0.08
自然環境の保全や環境教育の推進			0.07
交通安全対策			0.06
子どもの権利に関する意識			0.06
介護予防・高齢者福祉			0.06
大規模災害に備えた防災対策			0.02
景観の保全			0.02
起業支援			0.01
小・中学校における教育環境			▲ 0.01
地域の防犯対策			▲ 0.04
観光PR			▲ 0.15
計画的な行財政運営			▲ 0.15
地域の特性にあわせた計画的な土地利用			▲ 0.15
鉄道やバスなどの公共交通の充実			▲ 0.18
子育て支援や少子化対策			▲ 0.18
地域の農業振興			▲ 0.19
子育てや女性の就業への支援			▲ 0.22
中心市街地の活性化			▲ 0.26
企業誘致			▲ 0.26
渋滞解消のための道路整備			▲ 0.48

「満足」 2点

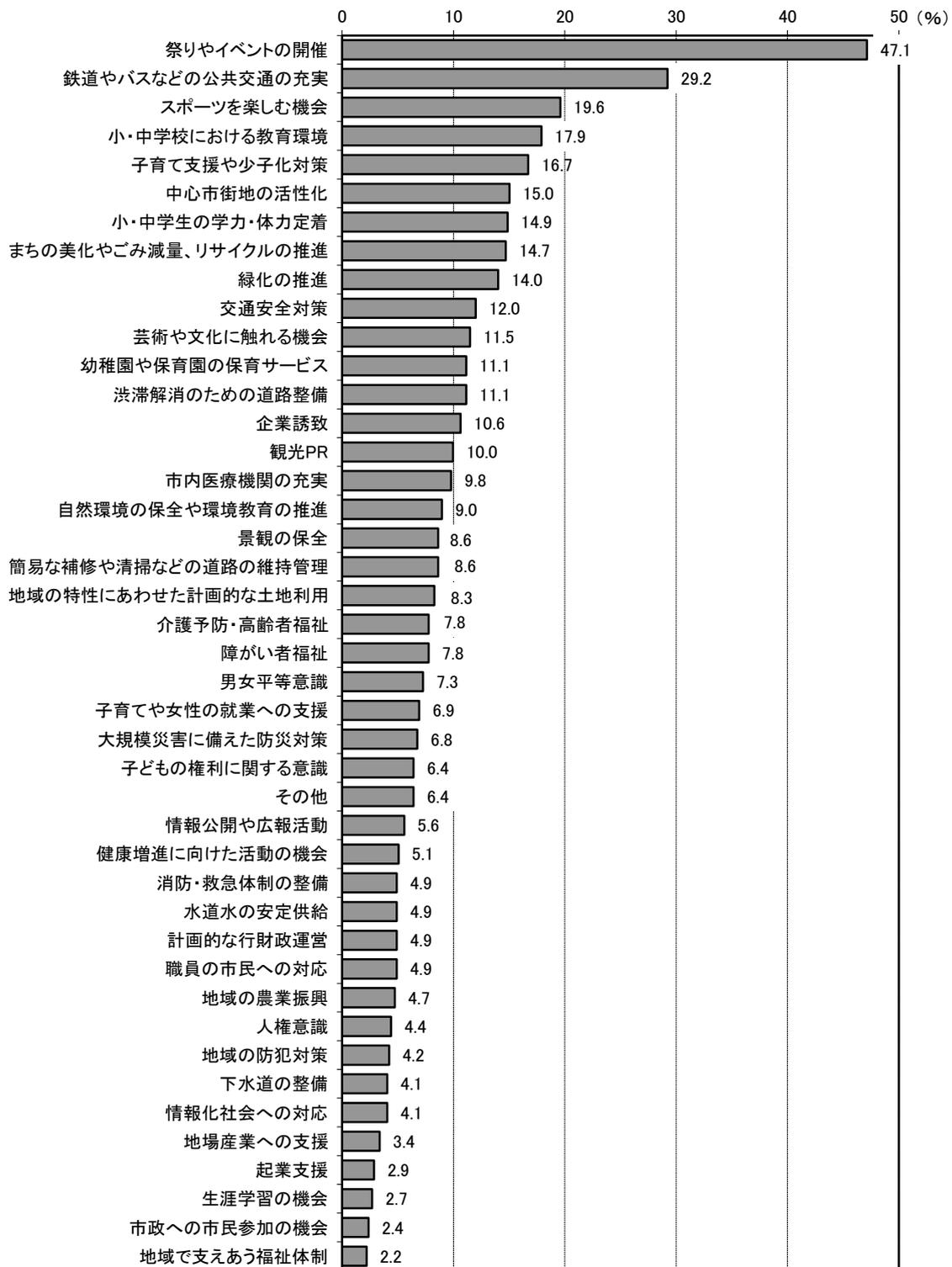
「やや満足」 1点

「やや不満」 -1点

「不満」 -2点

4-2 市の重点施策

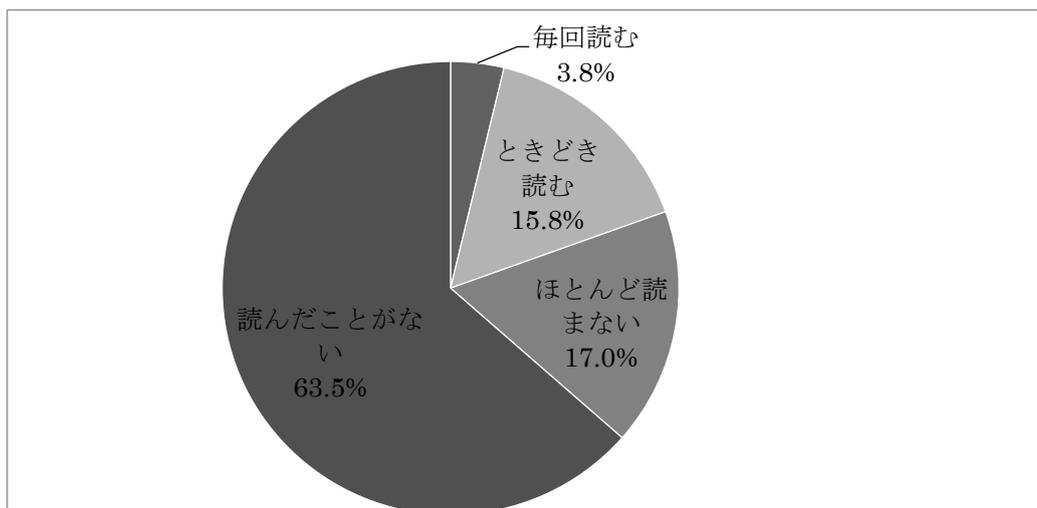
「今後力を入れてほしい施策」は、43 項目中「祭りやイベントの開催」(47.1%) が最も高く、次いで「鉄道やバスなどの公共交通の充実」(29.2%)、「スポーツを楽しむ機会」(19.6%) となっている。



第5章 情報提供について

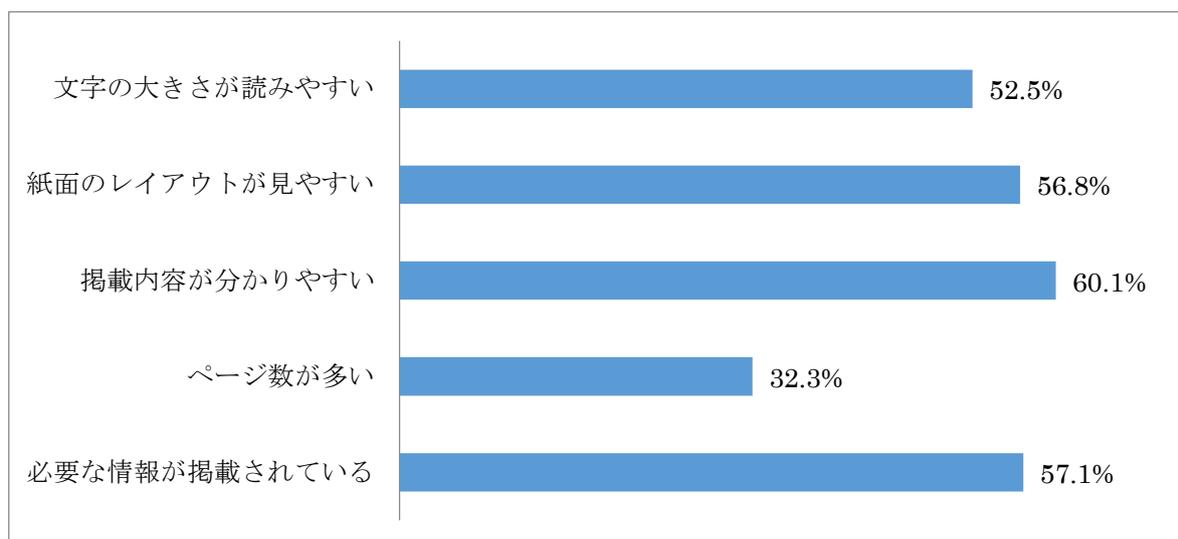
5-1 広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】を読んでいますか

「広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】を読んでいますか」については、「読んだことがない」（63.5%）が最も高く、次いで「ほとんど読まない」（17.0%）、「ときどき読む」（15.8%）、「毎回読む」（3.8%）となっている。



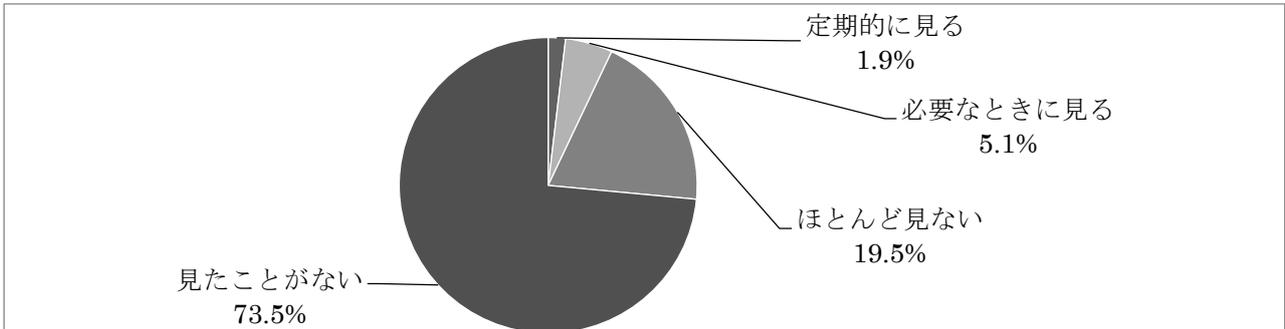
5-2 広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】の内容

「広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】の内容」については、「掲載内容が分かりやすい」（60.1%）が最も高く、次いで「必要な情報が掲載されている」（57.1%）、「紙面のレイアウトが見やすい」（56.8%）となっている。



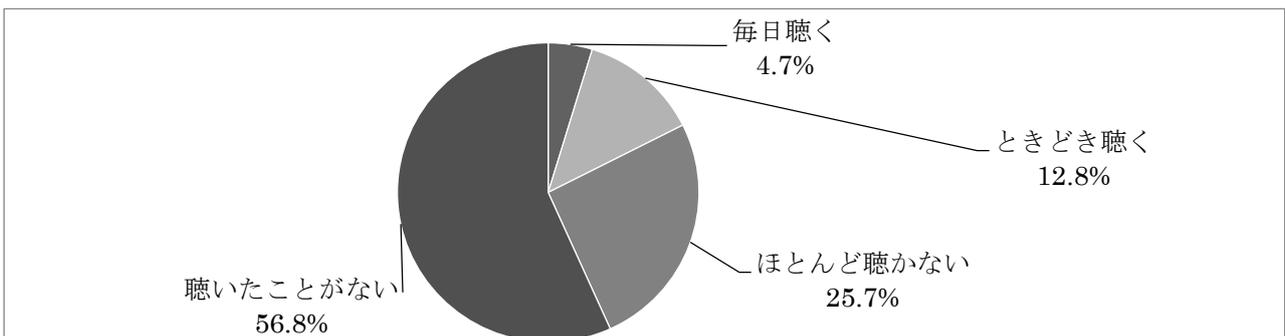
5-3 市のホームページ

「多治見市のホームページを見ますか」については、「見たことがない」(73.5%)が最も高く、次いで「ほとんど見ない」(19.5%)、「必要なときに見る」(5.1%)、「定期的に見る」(1.9%)となっている。



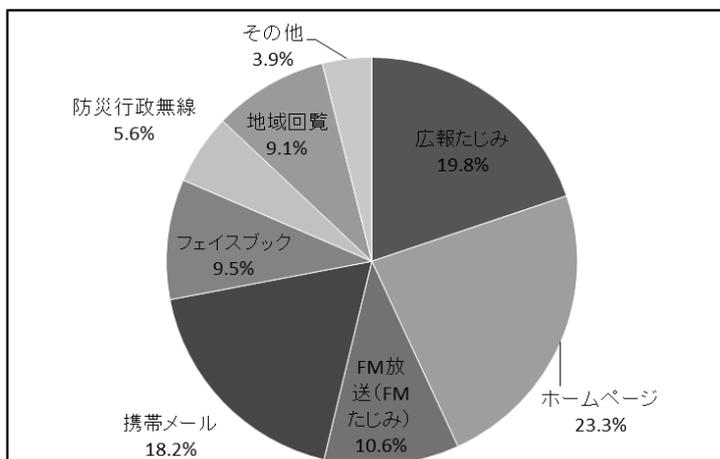
5-4 FMたじみ (エフエムピピ)

「FMたじみ (エフエムピピ (76.3MHz)) の放送を聴きますか」については、「聴いたことがない」(56.8%)が最も高く、次いで「ほとんど聴かない」(25.7%)、「ときどき聴く」(12.8%)、「毎日聴く」(4.7%)となっている。



5-5 市の広報手段

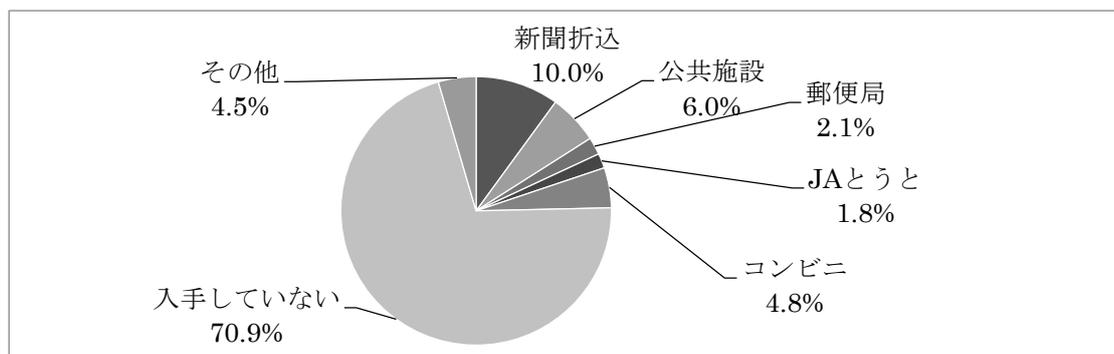
「これからの広報手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか」については、「ホームページ」(23.3%)が最も高く、次いで「広報たじみ」(19.8%)、「携帯メール」(18.2%)となっている。



第6章 選挙公報について

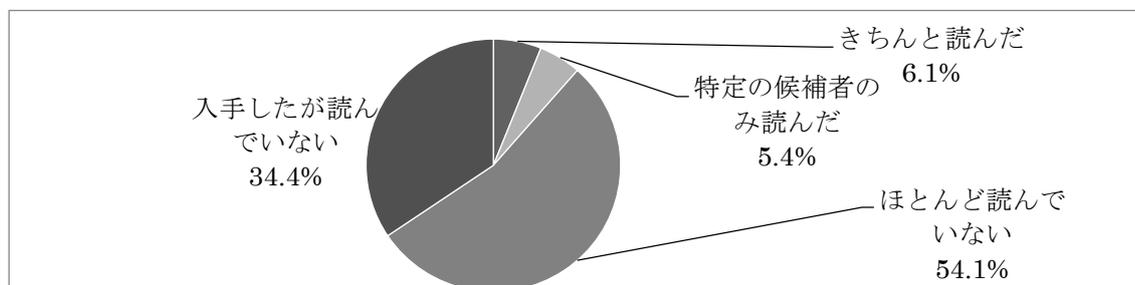
6-1 選挙公報の入手方法

「選挙公報の入手方法」については、「入手していない」(70.9%)が最も高く、次いで、「新聞折込」(10.0%)、「公共施設」(6.0%)となっている。



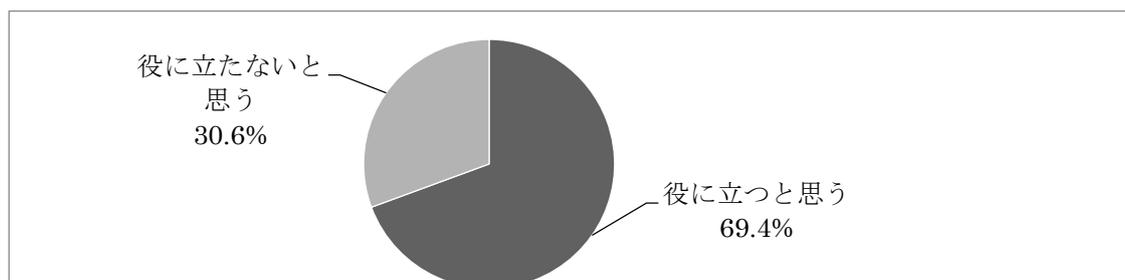
6-2 選挙公報を読んだか

「選挙公報を読んだか」については、「ほとんど読んでいない」(54.1%)が最も高く、次いで「入手したが読んでいない」(34.4%)となっている。



6-3 選挙公報は役に立つと思うか

「選挙公報は役に立つと思うか」については、「役に立つと思う」が69.4%となっている。



参 考 资 料

依 賴 文 書

多治見市「市民意識調査（高校生用）」 ご協力をお願い

日頃は多治見市政にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、市ではこのたび「市民意識調査（アンケート）」を実施することになりました。このアンケートは、市内高校生の皆様から市の施策や行政サービスに対するご意見をお聞かせいただき、今後の市政運営や施策形成の際の基礎資料とするためのものです。

アンケートは無記名回答とし、結果は統計的に処理され、個人的な意見や考えが外部にもれることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年 7月 1日
多治見市長 古川 雅典

【ご回答にあたってのお願い】

インターネットでパソコンやスマートフォンから回答してください。



<http://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/kocho/ishikichosa/h28ishikichosa-hs.html>

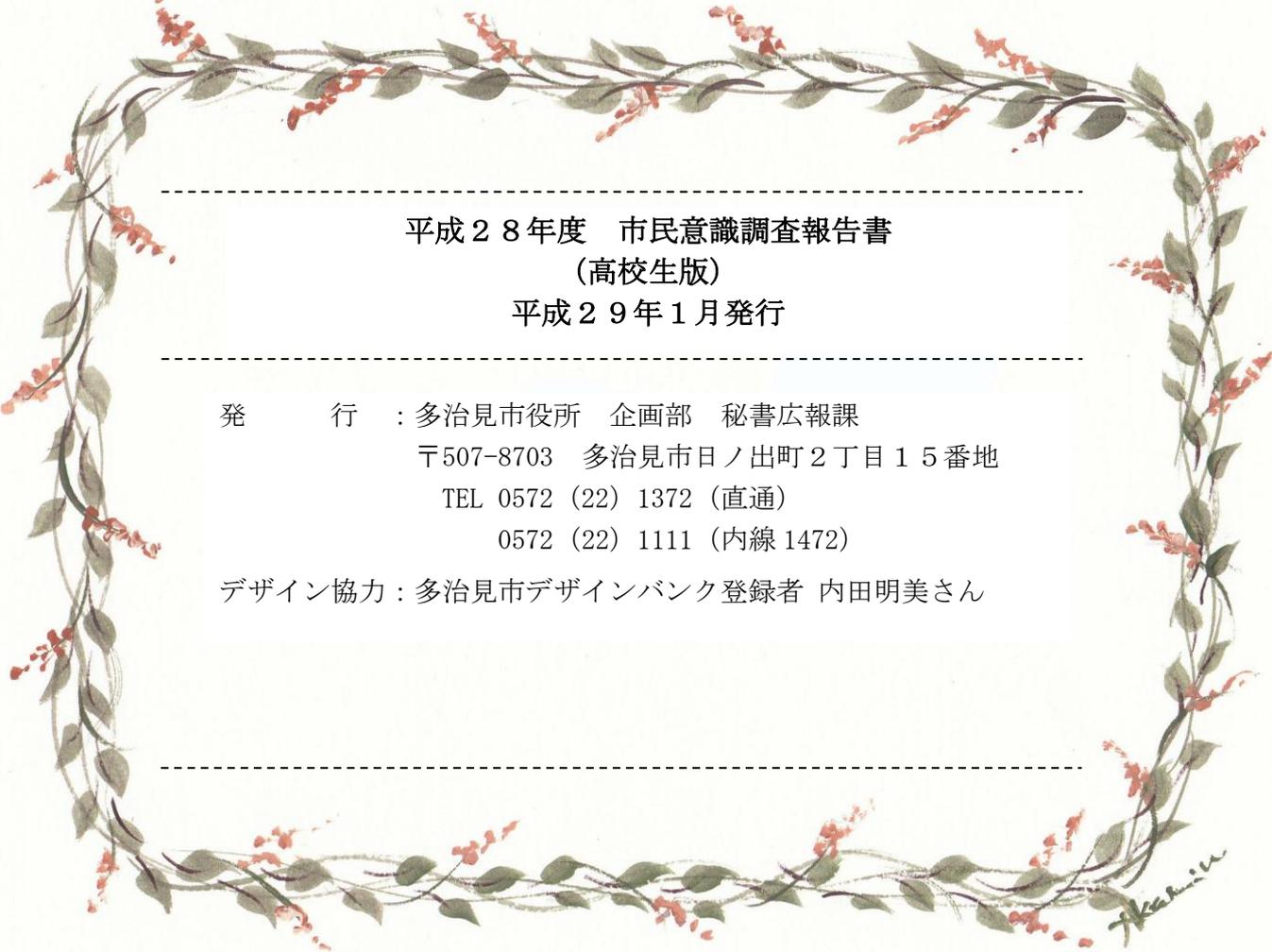
※**9月23日（金）**までに回答してください。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

多治見市 企画部 秘書広報課

電話 0572-22-1372

Eメール hisyokoho@city.tajimi.lg.jp



平成28年度 市民意識調査報告書
(高校生版)
平成29年1月発行

発行 : 多治見市役所 企画部 秘書広報課
〒507-8703 多治見市日ノ出町2丁目15番地
TEL 0572 (22) 1372 (直通)
0572 (22) 1111 (内線 1472)

デザイン協力 : 多治見市デザインバンク登録者 内田明美さん